

廃食用油を回収し、配達車両燃料へ転換再利用することで、二酸化炭素の削減と組合員さん自らが環境問題へ参加することを体感して頂く、両方の目的を持っています。

プロジェクトの実施場所	宅配事業部
削減量(予測)	年間 962t-CO2
在庫量	—
クレジットの次回発行予定	未定
1t-CO2あたりの希望単価	未定

コープさっぽろでは組合員の家庭から集めた廃食用油、各店舗の店頭で回収している廃食用油を既存の商品流通網の帰り便(静脈物流)を使って回収し、コープさっぽろのエコセンターへ集めています。これらをBDFとして燃料化し、コープさっぽろの商品宅配サービス(トドック)のトラック燃料として軽油に代替し使用しています。このことによって従来、各家庭から廃棄されていた廃食用油分をBDF燃料化し、CO2削減を図ることを実現しました。また、自ら集めた廃食用油が、トラックの燃料として再利用されていることを体感することによって、組合員の環境問題への意識を高めることも目的としています。

